



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月13日

上場会社名 マルシェ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤原 徹二

TEL 06-6624-8100

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,323	6.6	30	—	28	—	△4	—
2023年3月期第2四半期	2,178	158.6	△228	—	△214	—	△325	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△0.50	—
2023年3月期第2四半期	△40.49	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,859	9.1	352	9.1	352	9.1
2023年3月期	3,648	1.7	62	1.7	62	1.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 352百万円 2023年3月期 62百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,880	5.7	83	—	80	—	5	—	0.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	8,550,400 株	2023年3月期	8,550,400 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	522,130 株	2023年3月期	522,110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	8,028,270 株	2023年3月期2Q	8,028,290 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7
〔参考〕業態別出退店の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動の正常化を背景に個人消費の増加や訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復など、景気は緩やかに回復する動きが見られましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や世界的な資源価格の高騰、円安による物価の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い回復基調にあるものの、新型コロナウイルスによる生活様式の変化や原材料価格・光熱費の高騰、慢性的な人手不足等の影響により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は中期ビジョンを「人・おいしさ・楽しさをモットーに地域社会からあつてよかったと思っただけのユニークなFC外食企業を目指す」と再定義し、収益改善と再成長の実現に向けて、4つの課題に取り組んでおります。

- ①「構造改革」…本事業年度は直営店舗のスリム化を図り、収益の見込める店を優秀な独立希望社員に譲渡またはリース化を進めております。その独立手法として、「経営者育成支援制度」を新設し、当第2四半期累計期間においては、16店舗の譲渡またはリース化を実現いたしました。
- ②「既存店の強化」…「本物をおいしくちゃんとやる」をスローガンに掲げ、マルシェグループ全店において、サービス力の一定基準を満たし、お客様の受け入れ態勢を強化する制度として、「心の診療所認証店制度」取得推進に取り組んでおり、品質やサービスレベルの向上に取り組むことにより、お客様満足度の向上につなげ、販売価格の適正化を図ることで店舗収益の改善を目的としております。
- ③「新たなFCパッケージの創出」…新しい業態モデルとして、店頭でダイナミックな炭火焼で焼き上げるスタイルが特徴の新しいかたちの焼鳥屋「ニューとり屋」、既存業態のリニューアルモデルとして、八剣伝の看板メニュー「焼鳥」と酒場とらずの看板メニュー「あて巻」という異なる業態の良いメニューが楽しめるハイブリッド酒場「一(はじめ)」を開発、さらに、2023年10月13日にUNCHI株式会社 代表取締役 松村貴大氏とタッグを組み、松村氏が生みだすラーメンと音楽の調和の世界に当社の餃子と酒のノウハウを組み合わせ、新しい飲食シーンの確立を目指すべく、ラーメン居酒屋「麺と音と餃子 HAJIME」を開発いたしました。新たな市場を開拓していきます。
- ④「生産性の向上」…お客様にモバイルオーダーでご注文を頂くシステムの導入店舗は、当第2四半期累計期間において、28店舗となりました。昨今の人手不足やコスト削減への対応に取り組んでまいります。

このような取り組みを行った結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高は2,323,231千円(前年同期比6.6%増)、営業利益は30,064千円(前年同期は営業損失228,580千円)、経常利益は28,045千円(前年同期は経常損失214,954千円)、四半期純損失は4,016千円(前年同期は四半期純損失325,077千円)となりました。

【当2四半期の業績の概況】

	前第2四半期 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	当第2四半期 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日	対前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	2,178	2,323	144	6.6
営業利益又は営業損失(△) (百万円)	△228	30	258	-
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	△214	28	243	-
四半期純損失(△)(百万円)	△325	△4	321	-
1株当たり四半期純損失(△)	△40円49銭	△0円50銭	39円99銭	-

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	2023年3月期末	当第2四半期末	増減
資 産	3,648	3,859	211
負 債	3,586	3,507	△78
純 資 産	62	352	289
自己資本比率 (%)	1.7	9.1	7.4

当第2四半期会計期間末におきましては、主に現金及び預金199,324千円の増加、未収入金32,202千円の増加等により、総資産が前事業年度末に比べ211,364千円増加し、3,859,752千円となりました。

負債は、主に買掛金70,546千円の増加、未払金34,430千円の減少、未払消費税等103,779千円の減少等により、前事業年度末に比べ78,574千円減少し、3,507,466千円となりました。

純資産は、主に資本剰余金2,330,346千円減少し、利益剰余金が2,616,330千円増加したことにより289,939千円増加し、352,285千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大や生活様式の変容による消費ニーズの変化がもたらす影響の予測が困難なことから未定としておりましたが、経済活動の再開が順次行われ、現時点において入手可能な情報をもとに下期は緩やかに回復していくことを前提として、2024年3月期の通期業績予想といたしましては、以下を見込んでおります。

売上高	4,880百万円	(前期比 5.7%増)
営業利益	83百万円	(—)
経常利益	80百万円	(—)
当期純利益	5百万円	(—)

注 上記の業績見込は、作成時点における経営環境を前提に作成しており、実際の業績は様々な予期せぬ不確実的要因により、これら業績見込とは異なる結果となる可能性があります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、前会計年度まで4期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上しておりましたが、当第2四半期期間において、営業利益30,064千円、経常利益28,045千円、四半期純損失4,016千円を計上しております。

しかしながら、新型コロナウイルスへの対応、ウクライナ情勢の長期化、物価上昇や円安の進行等、依然として今後の先行きについては不透明な状況が続いておりますので、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の中、当社は第2四半期末の現金及び預金の残高は2,518,517千円であり、複数の金融機関等から資金調達を実施した後も継続した借入により当面の資金を確保しており、重要な資金繰りの懸念はありません。また、コスト圧縮等の対策や既存事業の再構築、デリバリーサービスの強化等により、売上拡大と利益確保に努めることで、業績の更なる回復に努めており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,319,192	2,518,517
売掛金	308,757	312,328
商品及び製品	33,112	36,379
原材料及び貯蔵品	26,242	22,543
未収入金	61,498	93,701
その他	52,979	52,940
貸倒引当金	△2,991	△3,524
流動資産合計	2,798,791	3,032,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	218,027	206,124
土地	149,366	149,366
その他(純額)	18,601	34,140
有形固定資産合計	385,994	389,630
無形固定資産	73,054	64,261
投資その他の資産		
差入保証金	321,542	298,777
その他	88,835	93,437
貸倒引当金	△19,830	△19,241
投資その他の資産合計	390,546	372,973
固定資産合計	849,596	826,865
資産合計	3,648,387	3,859,752
負債の部		
流動負債		
買掛金	337,721	408,267
短期借入金	1,800,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	40,000	45,000
未払法人税等	33,487	4,977
賞与引当金	1,463	9,955
株主優待引当金	53,437	29,584
資産除去債務	4,000	32,668
その他	445,215	317,401
流動負債合計	2,715,325	2,647,854
固定負債		
長期借入金	385,000	380,000
資産除去債務	105,266	99,188
その他	380,448	380,423
固定負債合計	870,715	859,611
負債合計	3,586,040	3,507,466

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,029,920	699,573
利益剰余金	△2,620,346	△4,016
自己株式	△453,386	△453,386
株主資本合計	56,186	342,170
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,159	10,114
評価・換算差額等合計	6,159	10,114
純資産合計	62,346	352,285
負債純資産合計	3,648,387	3,859,752

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,178,754	2,323,231
売上原価	846,561	936,117
売上総利益	1,332,192	1,387,113
販売費及び一般管理費	1,560,773	1,357,048
営業利益又は営業損失(△)	△228,580	30,064
営業外収益		
受取利息	203	171
受取配当金	283	324
受取家賃	4,979	5,213
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	9,411	-
賃貸収入	2,892	2,797
その他	7,138	6,175
営業外収益合計	24,909	14,682
営業外費用		
支払利息	11,059	13,913
損害賠償金	-	2,479
その他	223	308
営業外費用合計	11,282	16,701
経常利益又は経常損失(△)	△214,954	28,045
特別利益		
固定資産売却益	3,029	353
資産除去債務戻入益	7,851	250
特別利益合計	10,881	603
特別損失		
固定資産除却損	0	672
固定資産売却損	0	-
減損損失	104,258	28,346
特別損失合計	104,258	29,019
税引前四半期純損失(△)	△308,331	△370
法人税等	16,746	3,645
四半期純損失(△)	△325,077	△4,016

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月31日を払込期日とする第三者割当による新株式発行に伴い、発行済株式数（A種種類株式）が290株増加し、資本金及び資本準備金はそれぞれ145,000千円増加しております。

また、会社法第447条第1項及び3項並びに第448条第1項及び3項の規定に基づき、2023年7月31日の新株発行と同時に、資本金を145,000千円、資本準備金を961,726千円減少し、その他資本剰余金へ振り替えております。

加えて、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金2,620,346千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補を行っております。

3. 補足情報

〔参考〕業態別出退店の状況

		前事業年度					当第2四半期				
		自 2022年4月1日					自 2023年4月1日				
		至 2023年3月31日					至 2023年9月30日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直 営 店	酔 虎 伝	8	-	3	5	△3	5	-	1	4	△1
	八 剣 伝	49	-	9	40	△9	40	1	4	37	△3
	居 心 伝	5	-	3	2	△3	2	-	1	1	△1
	串 ま ん	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-
	八 右 衛 門	4	-	1	3	△1	3	-	1	2	△1
	焼そばセンター	4	-	2	2	△2	2	-	-	2	-
	マ ル ケ ン	28	-	4	24	△4	24	-	1	23	△1
	そ の 他	6	-	2	4	△2	4	2	-	6	2
小 計	105	-	24	81	△24	81	3	8	76	△5	
F C 加 盟 店	酔 虎 伝	10	-	1	9	△1	9	-	-	9	-
	八 剣 伝	215	4	21	198	△17	198	5	11	192	△6
	居 心 伝	6	2	1	7	1	7	-	-	7	-
	そ の 他	14	1	2	13	△1	13	3	-	16	3
小 計	245	7	25	227	△18	227	8	11	224	△3	
合 計	350	7	49	308	△42	308	11	19	300	△8	